

第2章 緑と景観の特性と課題

2-1 緑の特性と課題

2-1-1 都市の緑の機能

都市の緑は、自然の状態のまま保たれている原生的な自然とは異なり、人が適正に保全・整備・管理を行うことにより存在するものです。また、この計画の中で対象とする緑は、住民が生活していく中で、見たり触れたりする庭先の樹木や草花、公園の芝生や樹林、道路に植栽されている街路樹、境川や三好池などの水辺、市の特産品である梨や柿などが実る果樹園や田園、北部地域の自然林などの形あるもののほかに、これらが醸し出す環境や風景、さらには、昆虫や野鳥・小動物などの生態系までも含めています。

これらの緑は、人工的な都市環境の中で、季節感を与えるだけではなく人の心に安らぎを与えます。さらに、ヒートアイランド現象を緩和したり、火災の延焼防止や洪水の抑制、がけ崩れの防止など、身近な暮らしから地球環境へとさまざまな効用をもたらします。

以下に、都市における緑の持つ多様な機能を示します。

①都市の環境を維持・向上・改善する

- 大気の浄化(二酸化炭素の吸収、酸素の排出)
- 気温上昇の抑制
- 騒音・振動の抑制
- 水の循環(保水と蒸発散)



②都市の安全性・防災性を高める

- 公園や緑地での延焼防止と避難地の提供
- 街路樹や屋敷林による防風
- 樹林地による集中豪雨時の流出抑制



③美しい都市の風景を形成する

- 豊かな樹林と広がりのある農地によるふるさとの風景
- 街路樹や生垣などによる快適な歩行空間の提供
- 人工的なまちなか空間での潤いと季節感の提供



④都市の自然性を保全・回復する

- 生き物の移動や生息場の提供
- まとまった樹林地や水辺での豊かな生態系の形成



⑤心に安らぎと潤いを与える

- ストレスや視覚的な疲労の軽減
- 緑の育成を通じた精神的なゆとりと情操の形成



⑥レクリエーションの場をもたらす

- 休息・散歩・遊びの場の提供
- 緑や土、生き物などとのふれあいの場の提供
- 人々の交流の場の提供



2 - 1 - 2 緑の機能別の特性と課題

①環境保全機能

【特性と課題】

- ・河川やため池では、水質浄化とあわせて緑化推進による環境の改善・保全が必要です。
- ・「鎮守の森」は、地域に根付いた歴史性のある緑として保全が必要です。
- ・鎮守の森の多くは、自然林であることや巨木化していることから、本市の自然を伝えるために保全が必要です。
- ・住宅地と工場が混在しているところは、これらが共存できるような環境づくりが必要です。
- ・境川は、貴重な自然であることから保全が必要です。
- ・河川は、冷涼な空気を市街地へ供給する風の道であることから保全が必要です。また、野鳥や魚類など生き物の生息場所であることから、保全が必要です。
- ・境川などの河川や水路、ため池とを緑でネットワークすることが必要です。
- ・連続する緑の帯を形成する道路緑化の推進が必要です。

②レクリエーション機能

【特性と課題】

- ・ため池は、親水空間や散策、休憩の場として保全・整備が必要です。また、水質浄化が求められています。
- ・住民一人あたりの公園面積の確保に向けた公園緑地の積極的な配置が必要です。
- ・公園や広場などの1か所の面積が十分確保できない場合は、周辺に点在させるなどの工夫により全体で十分な量を確保することが必要です。
- ・既成市街地や既成集落内でも、住環境の質的向上や防災を考慮し、公園や広場など適正に配置することが求められます。
- ・祭りや郷土芸能の舞台となっている社寺林などは、本市の歴史・文化を伝える緑として保全が必要です。

③防災機能

【特性と課題】

- ・ため池は、防災機能を有していることから保全が必要です。
- ・既成市街地内や既成集落内における防災面に配慮した緑化が必要です。

④緑化

【特性と課題】

- ・市街地内での緑の軸となる道路緑化の推進が必要です。また、道路緑化の適正な維持管理が求められます。
- ・行政が先導的な役割を担い、積極的に緑化をすることで民間へ啓発することが必要です。
- ・既成市街地内の緑化は量的な拡大とともに、質的な向上を図ることが必要です。

- 
- ・市民との協働により、緑化を積極的に進めるとともに、維持管理方策についても検討することが必要です。
 - ・清掃や植栽などの緑・景観の形成に貢献する活動を行っている事業者などに対する活動支援の方策について検討することが求められます。
 - ・個人住宅における緑化活動や、地域における緑化ボランティア活動に対する活動支援の検討が必要です。
 - ・住民に対する緑・景観に対する意識向上についての啓発活動が必要です。
 - ・住民が参加しやすい緑化活動や費用の一部助成などの仕組みの検討が必要です。
 - ・緑のエコポイントや（仮称）緑を育み隊、農業ソムリエ^{※1}などの実現などの仕組みについて検討が必要です。

※1 用語集p.巻末 4参照。

2-2 景観の特性とその課題

2-2-1 自然景観の特性と課題

【構成要素】

田園風景、河川、ため池、自然林、ゴルフ場など

【特性と課題】

[田園風景]

- ・ 西部地域から南部地域に広がる農地景観は、広がりのある景観となっているため、営農環境との調和を図りながらの保全や配慮が必要です。
- ・ 農地での営みは、季節感を与えるものであり、美しい日本の四季の景観を構成することから保全が必要です。



田園風景（明知）

[河川・ため池の親水景観]

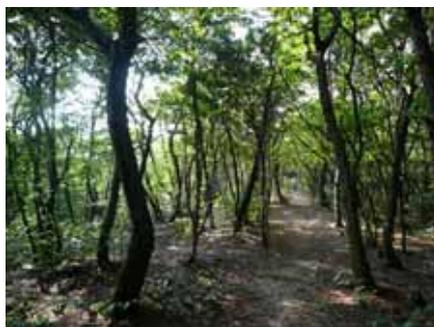
- ・ 境川、砂後川などの河川は、貴重な親水景観であることから保全するとともに堤防上の緑化を図るなど景観整備が求められます。
- ・ 市内に点在する三好池や保田ヶ池などのため池は、貴重な水辺の景観を呈しているため、保全をする必要があります。
- ・ アンケート調査において、河川やため池の水質浄化が求められていることから、生活排水・ごみの不法投棄対策などが必要です。



三好池

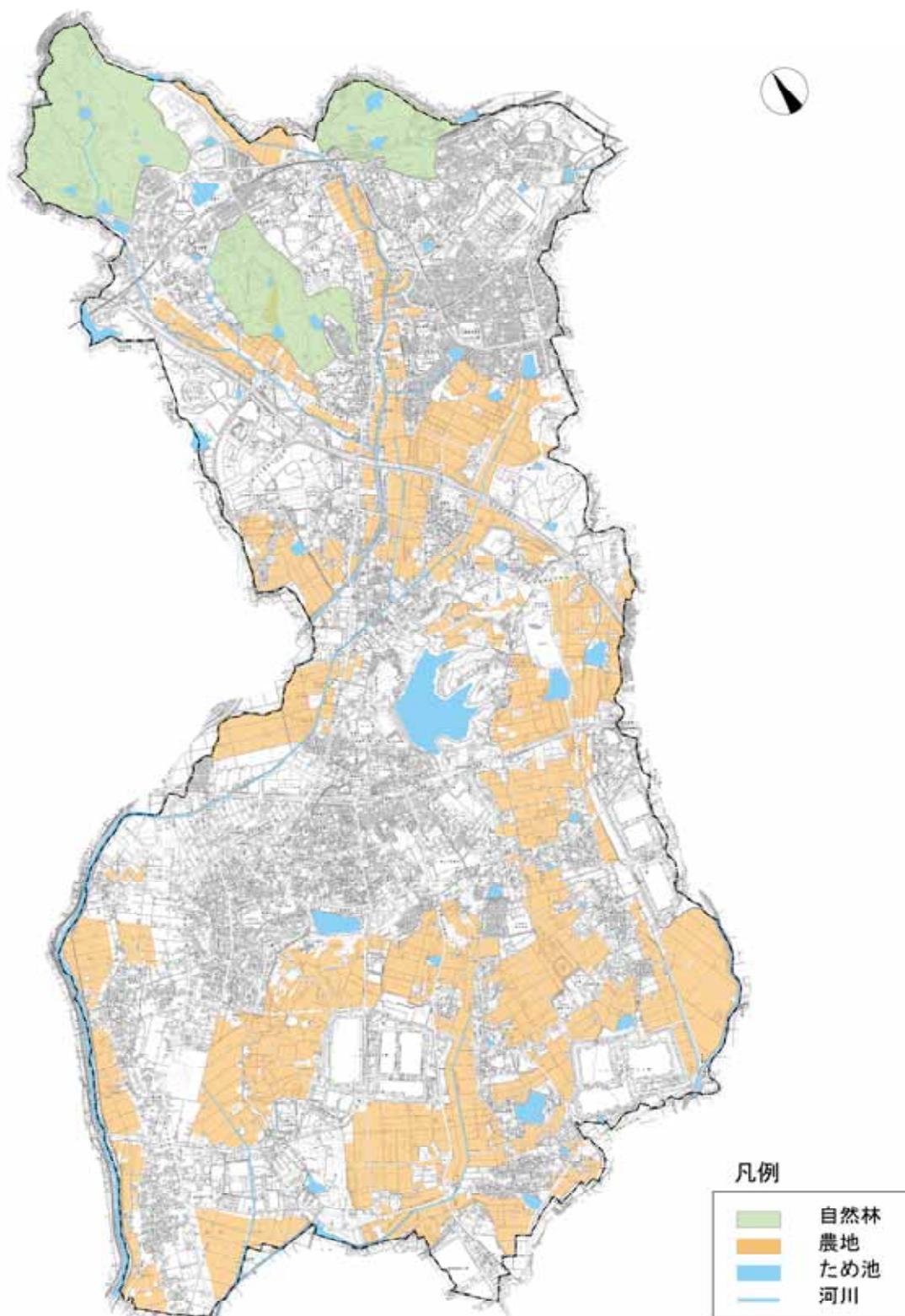
[自然林、ゴルフ場などの自然景観]

- ・ 黒笹地区の三好カントリーや福谷地区に残る貴重な自然林を保全することが求められます。
- ・ 保田ヶ池公園の森やその南側に残る大慈山の緑地は、森林性の野鳥の生息場所になっている貴重な森であり、保全が必要です。



三好丘緑地

【自然景観の景観特性図】



2-2-2 市街地景観の特性と課題

【構成要素】

住宅、商業・工業施設、都市公園、公共施設など

【特性と課題】

[住宅地景観]

- ・ 中心市街地は緑が全体的に少ない状況にあり、道路植栽、空地や店舗の店先などを活用した緑化を進め、緑豊かな市街地景観への配慮をする必要があります。
- ・ 電線・電柱や、無秩序な沿道の看板や広告物の設置が景観を悪化させています。



黒笹地区の住宅地

[商業・工業・公共施設の緑化景観]

- ・ 南部地域、西部地域などの大規模工場は、積極的な緑化が進められ周辺の農地景観との調和がみられます。
- ・ 大規模工場だけではなく、商業施設、中小の工場においても緑化の推進と協力が必要です。
- ・ 公共施設は利用者が多いため、行政は、積極的な緑化による景観の先導役として質的向上が必要です。



南部地域の大規模工場と農地

[公園緑地景観]

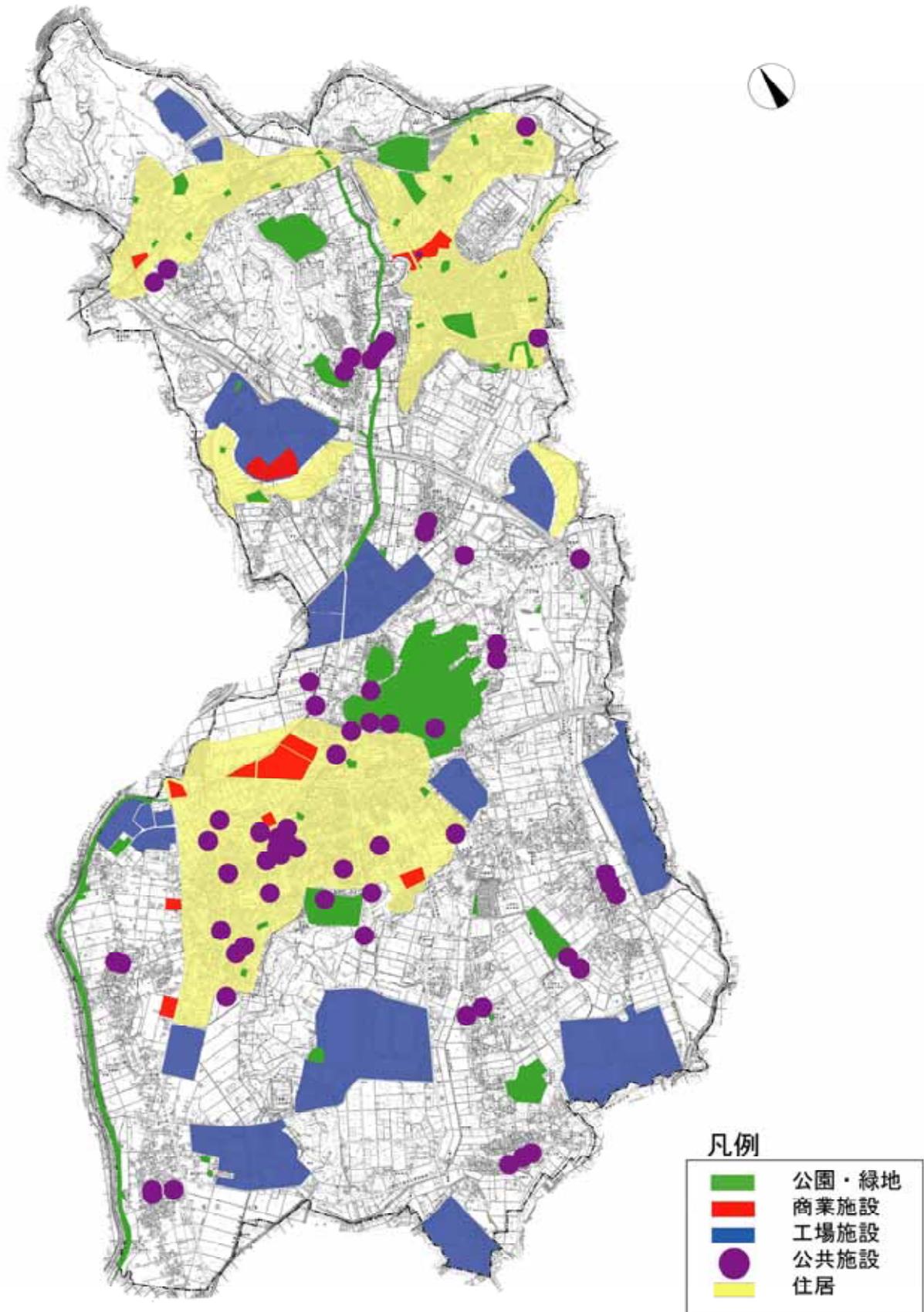
- ・ 土地区画整理事業^{※1}が行われた市街地では、街区公園・近隣公園が整備されており、既成市街地や市街化調整区域では、児童遊園、農村公園、コミュニティ広場などが地域住民の憩いの場となっています。
- ・ 市街地に自然の彩りを見晴らしを与える公園緑地景観は、市街地景観の質的向上を考慮し適正に配置することが必要です。



三好丘緑地

※1 用語集p.巻末 3参照。

【市街地景観の景観特性図】



2-2-3 歴史・文化景観の特性と課題

【構成要素】

社寺、鎮守の森、旧街道、文化財、祭りなど

【特性と課題】

[歴史的景観]

- ・ 社寺林は巨木化している場合が多く、いわゆる「鎮守の森」として地域に根付いた緑であることから、歴史性のある景観として保全が必要です。
- ・ 集落を結ぶ旧国道 153 号の一部は旧街道（飯田街道）であり、本市の歴史を伝えるわずかな街道風景が残存している場所の保全が必要です。



八幡神社

[文化的景観]

- ・ 本市には、市指定の文化財が6つあります。代表的なものとして、江戸後期に建立された「金比羅宮」や棒の手の演技・奉納が行われる「三好稻荷閣夏季大祭奉納行事」などがあり、文化的景観として保全が必要です。



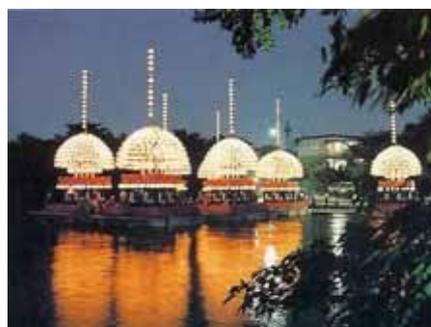
金比羅宮（絵天井の一部）

[心象的風景] ※1

- ・ 三好八幡社では、秋の大祭が行われ、江戸時代に建造されたといわれる山車が市内で曳き回され、本市の歴史を感じる景観を呈しています。
- ・ 三好稻荷閣満福寺では、大提灯祭りが行われ、境内の緑と一体となった景観を呈しています。
- ・ 三好池では、401 個の提灯をともした7隻の提灯舟が池を巡る三好池祭りが行われ、水面に提灯が映る幽玄さと、花火が上がるにぎやかさをあわせもつ祭りとなっています。



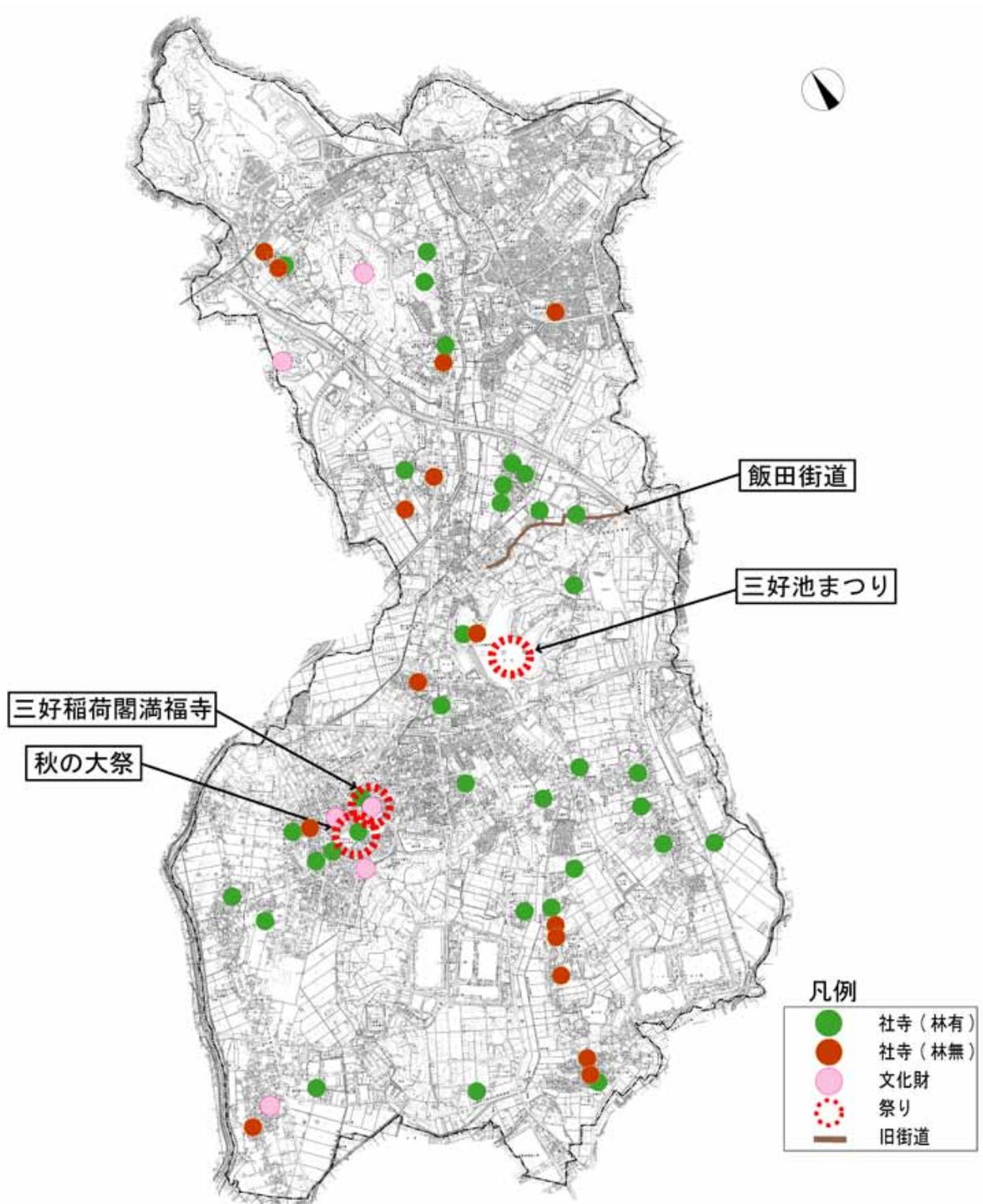
三好八幡社・秋の大祭



三好池祭り

※1 用語集p.巻末 2参照。

【歴史・文化景観の景観特性図】



2-2-4 軸的景観の特性と課題

【構成要素】

河川、用水路、道路、鉄道など

【特性と課題】

[河川親水景観]

- ・ 境川をはじめとする河川や愛知用水などの水路とため池とを緑でネットワークさせ、連続性のある親水景観とすることが必要です。

[道路・鉄道景観]

- ・ 市内では道路緑化が比較的小さいため、市街地景観を潤いあるものにし、連続する緑の帯を形成するためにも道路緑化を推進することが必要です。
- ・ 緑道三好ヶ丘1号線、三吉緑道、前田緑道は緑豊かで歩きやすい空間が確保されており、それらの維持・管理を行うとともに、境川や三好池などの緑の環境軸や拠点との連続性を図る必要があります。
- ・ 鉄道においても法面緑化など景観に配慮する必要があります。
- ・ 沿道の屋外広告物は、景観阻害となっていることがあることから、規制誘導や除却などの措置を検討することが求められます。



境川緑地



春木豊田線（保田ヶ池公園沿い）



みよし健康の道



名鉄豊田線（三好ヶ丘駅）

2-2-5 眺望景観の特性と課題

【構成要素】

地形、眺望点など

【特性と課題】

[眺望景観]

- ・ 本市の地形は、北が高く、南に行くにしたがい徐々に低くなっていく地形です。北部・三好丘地域にはやや高い丘陵がある一方で、西部・南部地域はほぼ平坦な地形となっています。そのため、眺望は、天王・三好地域を見下ろす北部・三好丘地域の丘陵部と、西部・南部地域で広がりのある農地景観があげられます。
- ・ 中心市街地などから見ると、丘陵部の樹林は眺望される対象となっており、無秩序な開発が進むと、連続した緑の斜面が途切れ、美しい緑の景観とは言えなくなるため、今後は景観に配慮した整備、または保全の観点からの留意が必要です。
- ・ 東名高速道路からは、本市の田園風景が眺望できることから、その眺望の保全が必要です。
- ・ 丘陵部からの眺望は、市街地と田園風景が調和しており、その眺望を楽しむことができる眺望点を保全・活用する方策検討が必要です。



三好丘緑地からの眺望



さんさんの郷からの眺望



三好公園からの眺望



東名高速道路からの眺望

【眺望景観の景観特性図】



緑と景観づくりの課題

